

6万人の大観衆が“音と光の祭典”を堪能

—第10回横芝町民花火大会—

町観光協会（平山敬止会長）主催による“第10回横芝町民花火大会”が、8月15日の日曜日ふれあい坂田池公園を会場に盛大に開催され、夜空を焦がす色とりどりの花火が会場を埋め尽くした大勢の観衆を魅了しました。



故郷の夜空に光の芸術

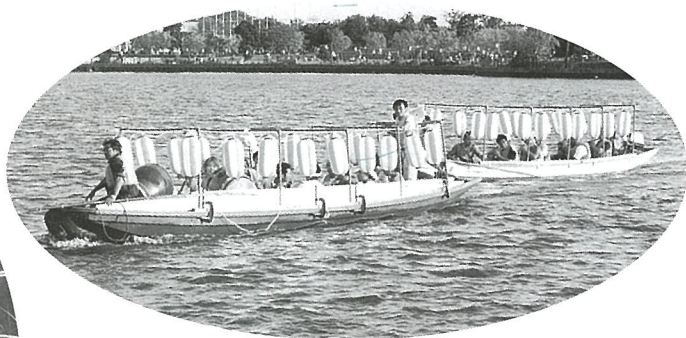
平成2年からふるさと創生事業の一環として、毎年8月の第2土曜日に実施されている“横芝町民花火大会”ですが、今年は当初予定していた14日が悪天候となったため、翌日の15日（日）に行われました。この花火大会は、当町の夏の風物詩として定着してきていることもあって、1日日延べされたにもかかわらず、会場周辺には、町内や近隣の市町村から約6万人の大観衆が詰めかけました。

花火の打ち上げ時刻は午後7時からの予定ですが、坂田池周辺は6時前にすでに満席の状態となつてしまい、大会を前に行われた上町、本町、東町、北清水、鳥喰上新田地区のみなさんによる屋形船での「湖上のお囃子競演会」が、大会の雰囲気をもより一層盛り上げていました。

そして午後7時、平山観光協会長と實川町長の挨拶の後、スターマインが豪快に打ち上げられ花火大会は開幕。「マジカルフラワー」、「夜空にうつる涼花」などと名付けられた4号玉や特大水中スターマイン、尺玉の競演が行われたほか、第10回記念特別プログラムとして豪華スターマインを中心とした迫力あるエンディングなど、合計3,800発の花火が約1時間半にわたって絶え間なく打ち上げられ、集まった大観衆は“音と光の祭典”を存分に堪能しました。

なお、今年の大会では、来場したみなさんに“ゴミの持ち帰り”をお願いしたところ、ゴミは例年の3分の1程度となり、後かたずけも非常にスムーズに行なうことができました。

ご協力ありがとうございました。



「湖上のお囃子競演会」が大会の雰囲気を一層盛り上げました



横芝町民花火大会名物「特大水中スターマイン」